

インプラント間の乳頭再建を考える Consideration of Reconstruction for Inter-Implant Papilla

Masana Suzuki

鈴木 真名

鈴木歯科医院



インプラント治療における審美修復を考えた場合、乳頭の欠損あるいは乳頭の高さの減少といった問題に直面することが少なくない。これらの問題への解決方法は、乳頭周囲の環境、すなわちその乳頭が1) インプラント-天然歯間、2) インプラント-ポンティック間、3) インプラント-インプラント間、のいずれによるかで再建方法は変わってくる。

また、インプラントの植立状態、とくにインプラント周囲の骨レベルの状態も再建において重要な要素となり、単に軟組織の再建を考えればいいものではない。このように複雑な要素を紐解きながら、インプラント間の乳頭再建計画を考えるべきであり、それは時に広範囲にわたる治療計画となることもある。

本講演では、インプラント周囲の環境の違いがどのように乳頭再建にかかわってくるか、いくつかの治療例を挙げて、今あるエビデンスと照らし合わせて考察してみたい。

【略歴】

- 1984年 日本大学松戸歯学部卒業
- 1989年 鈴木歯科医院 開業
- 2008年 鶴見大学歯学部 口腔顎顔面インプラント科非常勤講師
- 2009年 日本大学松戸歯学部 客員教授

【現在】

- ・日本歯周病学会 専門医
- ・日本顕微鏡歯科学会 理事・指導医
- ・日本臨床歯科学会 理事
- ・Osseointegration Study Club of Japan (OJ)
- ・AAP (American Academy of Periodontology)
- ・AO

【著書】

- ・ Illustrated Periodontal Micro-surgery Advanced technique - Soft tissue management for an aesthetic result 2010年 クインテッセンス出版
- ・ Periodontal Microsurgery 2002年 クインテッセンス出版

【主な講演先】

- ・ P.R.D Annual Meeting
- ・ AAP (American Academy of Periodontology)
- ・ AO
- ・ USC (University of Southern California) Perio-Implant symposium
- ・ AMED Annual Meeting
- ・ 日本歯周病学会
- ・ 日本臨床歯周病学会
- ・ 日本口腔インプラント学会 etc